

2022 年度 傾斜的研究費（全学分）若手研究者独立基盤形成支援 研究報告書

【研究費区分】：若手研究者独立基盤形成支援

【所属】：人文科学研究科文化関係論／人文社会学部人文学科

【氏名】：金 志成

【氏名フリガナ】：キム チソン

【職】：准教授

【研究課題名】：現代ドイツ文学における「転換（Wende）」の歴史化

【研究実績の概要】

本研究は、ドイツ現代史の「転換（Wende）」とされる 1989/90 年の壁崩壊／東西統一と文学の関係に取り組むものである。当該主題の「歴史化」がまさに進行しつつある現在、ドイツ本国においては「転換小説（Wenderoman）」の新たなカノンが陸続と書かれ、それらに関する研究の更新が進む一方で、日本国内においては主要作品の翻訳も含め、研究の蓄積がほとんどなされていない。本研究は、そのような状況に鑑み、本年度はルッツ・ザイラーの長編小説『クルーザー』の翻訳に従事し、2023 年 2 月に白水社の定評あるエクス・リブリス叢書として刊行した。なお、報告者は本翻訳企画によってゲーテ・インスティトゥート東京より 2020 年かけはし文学賞を受賞している。

上記に加えて、最新のリュリコロギー理論を踏まえた近現代ドイツ抒情詩の共同研究に継続的に従事しており（報告者はルッツ・ザイラーによるポスト DDR 抒情詩作品を担当）、その成果は 2023 年 6 月開催の日本独文学会シンポジウムで発表することが決まっている。

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】

本研究を行うための最も重要な基盤として、研究課題に関わる一次文献のほか、当該分野の先行研究、文学理論、現代史といった二次文献を含む図書の継続的な購入が挙げられるが、これについては現段階において必要な基準は概ね達成されている。ただし、アーカイブ資料などドイツ本国への渡航が必要な文献については、ここ数年のコロナ禍により収集が追いついていないため、今後の現地調査によって補うことになる。

【本支援を用いた具体的な研究グループの形成について】

・